

研究主題

こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント  
～自由進度学習の可能性を探る～

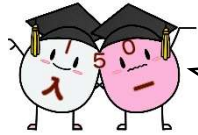
マイプラン・タイム（2教科2単元）  
第3学年 国語科・音楽科学習指導案

学習期間：令和7年11月6日（木）～11月27日（木）

対 象：3年90人（特別支援学級含む）

場 所：3年生教室・音楽室AB・準備室・廊下

授業者：首藤涼一郎 鮎川祐貴 細田龍 平澤勇二  
久保愛喜



本校では単元内自由進度学習を  
『マイプラン・タイム』と呼んで  
いるよ。

- 1 単元・題材名 **国語科** 「たから島のぼうけん」（国語 三下 あおぞら 光村図書）（6時間）  
**音楽科** 「いろいろな音のひびきに親しもう」（小学生の音楽3 教育芸術社）（7時間）

2 単元・題材の目標

**国語科**

様子や行動、気持ちや性格を表す語句を文章の中で使って語彙を豊かにするとともに、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし、想像したことを書く活動を通して、学び方を選択し、見通しをもって自分が想像した物語を最後まで書き上げることができるようにする。

**音楽科**

楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。

3 単元・題材の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
国語科	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	自分の想像した物語を表現することにおいて、相手や目的を意識して、様子が伝わるよう言葉を選んだり、書いた文章を読み返したりしながら、よりよい表現を検討して文章を整え、伝えたいことを明確にしている。	進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 自分でテーマや題材を選択することにより、意欲を持続し、自分が想像した物語を書き上げようとしている。
音楽科	曲想及びその変化と、音色などの関わりについて気付いている。（鑑） 曲想と音色などの音楽の構造と関わりについて気付いている。（器）	音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、	金管楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） 楽器の音が重なり合う響きに興

	<p>思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>曲全体を味わって聴いたことを表現している。(鑑)</p> <p>音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、曲の特徴を捉え、思いや意図をもって、工夫して演奏している。(器)</p>	<p>味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(器)</p>
--	--	--	---

#### 4 指導観

##### (1) 単元・題材観

**国語科** 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

国語〔第 3 学年及び第 4 学年〕 2 内容

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

B 書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ウ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。

本単元は、宝島の地図から自分なりの物語を想像し、それを文章として書く活動である。文章を書く際に、事象や感情を伝えるためにはどのような語句が必要なのかを考え、探し、選ぶことがポイントとなる。

「四まいの絵を使って」の単元で学んだ、文章の構成のしかたを思い出すとともに、読み手に伝えたいテーマをもたせ、そのテーマに沿った物語が構成できるように、「物語を面白くするにはどのような展開にすればよいか」「会話をどこで入れ、登場人物の行動をどう表現するか」「最後はどのような結末にするのか」などといったことを考えさせ、楽しい冒険物語に仕上げさせる。

3つの宝の地図をもとに、自由に物語を考えられるようにし、書きたい物語を想像できるようにすることで、学習の見通しをもちながら、最後まで意欲をもって物語を書き上げられるようにする。

**音楽科** 本題材で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成29年告示）において、以下のように位置付けられている。

音楽〔第3学年及び第4学年〕 2 内容

A 表現

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。

イ 次の(ア)及び(イ)について気付くこと。

(イ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり。

ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能。

(イ) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能。

(ウ) 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。

本題材では、様々な楽器の音色に注目し、聴いたり演奏したりする活動である。これまでは歌唱において発声を変化させることで、自分の歌声も様々に変化することを体験し、曲想に合う歌い方を考えて表現してきた。鑑賞ではトランペットの音色に注目し、楽器の構造や音の出し方などを知ることで、トランペットの固有の音色や響きに繋がっていることを実感させる。また合奏では、楽器それぞれの音色を生かすために、どのように演奏したらよいかを考えながら表現できるようにする。本題材を通して、楽器それぞれの音色や響きに注目して聴いたり演奏したりする活動をし、これまでの歌唱の表現などにもつなげていき、今後の音楽表現を豊かなものにしていく。

(2) 児童観

自由進度学習（以下、マイプラン・タイム）の学習について意識調査を行ったところ、「マイプラン・タイムで困ったことは何ですか。」という質問に対して「特にない」と答えた児童が全体の72%いた。残りの28%の児童は「問題の意味や解き方が分からない」という回答が6割を超えていた。また、「マイプラン・タイムでどのような力が身に付いたと思いますか」という問いに対して、「学習内容の理解」と回答した児童は33%であった。マイプラン・タイムの学習に対して肯定的に取り組んでいる児童の中にも、学習内容が理解できたと感じていない児童がいることが分かった。

国語では、「書く」単元のアンケートを実施し、「どのように書いたらよいか、分かりにくかった」「書くことは難しかった」と答えた児童が25%いた。理由としては、「どんな文章を作ったらよいか分からない」や「自分で考えたり、表現したりするのが苦手」などが挙げられた。これらの問題を解決する手だてとして、児童が自ら選択したり、考えを表現したりしやすい学習環境や学習シートを工夫していく。

音楽では、意欲的に活動している児童が多く、歌唱や器楽の活動も楽しんで行っている。しかし3年生より始まったリコーダーの学習においては、適切な息の使い方が身に付いていない児童が各学級で数名見受けられ、必要以上に息を入れることで響きのない音を出してしまっている。本題材を通して、演奏の仕方と音色の関わりを知ること、リコーダーだけでなく他の楽器の響かせ方についても身に付けさせたい。また、そのような視点をもって演奏を聴くことで、金管楽器の音色や響きに親しむことができる素質を育みたい。

中学年を目指す「自分に合った学び方を選択し、見通しをもって取り組むことができる児童」が達成でき

るよう、本研究において、以下の2点を重点とする。1点目は「児童が自ら選択したり、表現したりしやすい学習環境づくり」を重点とし、児童の自走を促したい。考えたり表現したりすることが苦手な児童が、自分でやりたい課題を選び、ヒントを基に表現を考えたり集中して取り組んだりすることができるようにしていく。2点目は「学びのゴールのイメージ化」である。学習内容が十分に理解できるよう、学びのゴールや進め方を提示していく。特に導入の時間では、学習の見通しをもたせつつ、学習シートや学習環境でも、自分で活動のゴールまでの見通しをもてるようにしていく。

## 5 本単元・題材の学習の関連と発展

### 国語科

2年	「すてきなところをつたえよう」 ・思いが伝わるように、手紙を書く。
3年	「わたしのさいこうの一日」 ・様子を表す言葉を使って、想像上の日記を書く。
	「気持ちを込めてきてください」 ・案内の手紙を書き、読み返して文章を整える。
	「引用するとき」 ・引用の方法を知る。
	「仕事のひみつをさがせ大作せん！」（「仕事のくふう、見つけたよ」） ・読む人のことを考え、書くことを選んで報告する文章を書く。
	「書くことを考えるときは」 ・図を使って、何を書くかを考える。
	「食べ物ひみつの教え」 ・分かりやすい組み立てを考え、説明する文章を書く。
	「わたしの町のよいところ」 ・紹介する文章を書き、感想を伝えあって、内容や書き方のよい点を知る。
	「四まいの絵を使って」 ・物語を書くときの組み立てを考える。
	「たから島のぼうけん」 ・書き表し方を工夫して、物語を書く。
4年	「心が動いたことを言葉に」 ・詩を書いて、言葉や表現の工夫について感想を伝え合う。

音楽科

3年

「いろいろな音のひびきに親しもう」

- ・ 金管楽器の響きに親しみながら鑑賞する。
- ・ 楽器の音色が重なり合う響きを感じ取りながら、「パフ」を合奏する。

4年

「いろいろな音のひびきを楽しもう」

- ・ 木管楽器の響きに親しみながら鑑賞する。
- ・ 楽器の音色が重なり合う響きを感じ取りながら、「茶色の小びん」を合奏する。
- ・ 打楽器の音色や響きを生かして、リズムアンサンブルをつくる。

5年

「いろいろな音色のひびきを味わおう」

- ・ オーケストラの響きを味わいながら鑑賞する。
- ・ 楽器の音色や響きを生かした音の重なりを考え、「リボンのおどり」を合奏する。
- ・ 打楽器の音色や響きを生かしたリズムを選択したり組み合わせたりして、リズムアンサンブルをつくる。

6年

「いろいろな音にひびきを味わおう」

- ・ オーケストラの響きを味わいながら鑑賞する。
- ・ 旋律と楽器の音色や響きに合う音の重なりを考え、「ラバースコンチェルト」を合奏する。
- ・ 声の音色や響きを生かしたリズムを選択したり組み合わせたりして、ボイスアンサンブルをつくる。

## 6 目指す児童像に迫るための手だて

### 中学年分科会 目指す児童像

自分に合った学び方を選択し、見通しをもって取り組むことができる児童

#### (1) 児童が自ら選択し、学習に集中したり、考えを表現したりすることができるようにするための環境・教材の工夫

【国語】自分の物語を作れるよう、学習環境の設定において、廊下に「たから島」の立体模型を設置する。3枚の絵を用意し、どの絵を選択するかを選ぶことで、主体的に学習に取り組むことができると考える。また、ヒントカードや言葉の宝箱の活用カードなどがいつでも使えるように準備をしていく。作品作成については、紙とタブレットのどちらかを自己選択できるようにしている。

【音楽】鑑賞では、他の楽器の音が入り込まず、トランペットの響きに注目して鑑賞することができるようにするための鑑賞ブースを設ける。またイヤホンを使用し、タブレットを用いて自分のタイミングで聴きたい音や観たい演奏を選択して、自由に聴くことができるようにする。

器楽では、器楽ブースを複数設け、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付くことができるようにする。複数の活動内容を示した学習シートを使い、児童が活動を選択できるようにし、主体的に学習を進めることができるようにする。

#### (2) 見通しをもって学びを深めていくための学習過程の工夫

【国語】導入の際に、「読む人が楽しい物語を作る」ことをゴールとして示し、そこまでの過程でどのような学習を進めなくてはいけないのかを確認する。また、前単元の学習「四まいの絵を使って」との関連を想起させ、本単元でも、設定や場面の組み立ては全員が適切に行えるよう教師はファシリテートしていく。見本をいつでも見られるように掲示したり、表現のポイントを確認できる学習シートなど準備したりして、表現を豊かにしながら物語の作成を自分で行えるようにしていく。

【音楽】導入の際に、「重なり合う響きを感じ取りながら合奏する」ことをゴールとして示し、そこまでの過程でどのような学習を進めなくてはいけないのかを確認する。また、実際に金管楽器を間近で見たり、音を出す仕組みを体験したりして、固有の音色を生み出していることを実感するようにする。また楽器の響きと複数の教師で制作した演奏動画を配付し、動画の音色と自分の音色を比較したり、演奏の仕方を考えたりして、演奏を深めていくことができるようにする。

時 形態		1 一 斉	2 ～ 6 個 別																																																			
目 標		・学習の進め方を知り、見通しをもつ。 ・学習問題を捉え、学習の見通しをもって学習計画を立てることができる。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句を文章の中で使って語彙を豊かにするとともに、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし、想像したことを書く活動を通して、学び方を選択し、見通しをもって自分が想像した物語を最後まで書き上げることができるようにする。																																																			
学 習 の 流 れ	1 3枚の宝島の絵を見せ、どんなものがあるか、全体で話し合う。		1 挨拶																																																			
	2 3枚の宝島の絵から、1枚を選びその絵を基に物語を作るという学習の目的を理解する。 学習問題 お気に入りのたから島をえらび、読む人が楽しい物語を作ろう。		2 自分の計画を確認する。																																																			
	3 学習の進め方を知る。		3 マイプラン・タイム																																																			
	4 場や教材の使い方を理解する。		学習マップ たから島のぼうけん																																																			
	5 自分の学習計画を立てる。		<table><tr><th></th><th>ミッション名</th><th>内 容</th><th>ヒ ント</th><th>場 所</th><th>完 了</th></tr><tr><td>みんな</td><td>1 くふうして物語を書こう</td><td>○学習のゴールをかくにんしよう。 ○物語を書くときのくふうを考えよう。</td><td>教p.111-115</td><td>教室</td><td></td></tr><tr><td rowspan="7">ひとり</td><td>2 せっていを考えよう。</td><td>○人物・道順・出来事・たから物について考える。</td><td>教p.112</td><td>教室・廊下</td><td></td></tr><tr><td>3 文の組み立てを考えよう。</td><td>○「始まり・出来事(事件)が起こる・出来事(事件)が解決する・結び」で組み立てよう</td><td>教p.113</td><td>教室・廊下</td><td></td></tr><tr><td>4 くふうした書き方を見つけよう</td><td>○書き方の良さを見つける。</td><td colspan="2">ミッション4は4～7の間にやる</td><td>教室</td></tr><tr><td>5 「はじめ」を書こう。</td><td>○人物の紹介や物語の始まりを考えよう。</td><td>教p.113-115</td><td>教室・廊下</td><td></td></tr><tr><td>6 「中」を書こう。</td><td>○どんな出来事が起き、どのようにかい決するのか考えよう。</td><td>教p.113-115</td><td>教室・廊下</td><td></td></tr><tr><td>7 「終わり」を書こう。</td><td>○たから物を見つけた後、どうなるのか考えよう。</td><td>教p.113-115</td><td>教室・廊下</td><td></td></tr><tr><td>パワーアップ ミッション</td><td>○君の物語、今ここから ○自分の作品のあらすじを書こう。 ○自分の作品の表紙をつくろう。 ○自分の作品の挿絵をかこう。 ○自分の作品のポップを作ろう。</td><td></td><td>教室</td><td></td></tr></table>						ミッション名	内 容	ヒ ント	場 所	完 了	みんな	1 くふうして物語を書こう	○学習のゴールをかくにんしよう。 ○物語を書くときのくふうを考えよう。	教p.111-115	教室		ひとり	2 せっていを考えよう。	○人物・道順・出来事・たから物について考える。	教p.112	教室・廊下		3 文の組み立てを考えよう。	○「始まり・出来事(事件)が起こる・出来事(事件)が解決する・結び」で組み立てよう	教p.113	教室・廊下		4 くふうした書き方を見つけよう	○書き方の良さを見つける。	ミッション4は4～7の間にやる		教室	5 「はじめ」を書こう。	○人物の紹介や物語の始まりを考えよう。	教p.113-115	教室・廊下		6 「中」を書こう。	○どんな出来事が起き、どのようにかい決するのか考えよう。	教p.113-115	教室・廊下		7 「終わり」を書こう。	○たから物を見つけた後、どうなるのか考えよう。	教p.113-115	教室・廊下		パワーアップ ミッション	○君の物語、今ここから ○自分の作品のあらすじを書こう。 ○自分の作品の表紙をつくろう。 ○自分の作品の挿絵をかこう。 ○自分の作品のポップを作ろう。		教室
	ミッション名	内 容	ヒ ント	場 所	完 了																																																	
みんな	1 くふうして物語を書こう	○学習のゴールをかくにんしよう。 ○物語を書くときのくふうを考えよう。	教p.111-115	教室																																																		
ひとり	2 せっていを考えよう。	○人物・道順・出来事・たから物について考える。	教p.112	教室・廊下																																																		
	3 文の組み立てを考えよう。	○「始まり・出来事(事件)が起こる・出来事(事件)が解決する・結び」で組み立てよう	教p.113	教室・廊下																																																		
	4 くふうした書き方を見つけよう	○書き方の良さを見つける。	ミッション4は4～7の間にやる		教室																																																	
	5 「はじめ」を書こう。	○人物の紹介や物語の始まりを考えよう。	教p.113-115	教室・廊下																																																		
	6 「中」を書こう。	○どんな出来事が起き、どのようにかい決するのか考えよう。	教p.113-115	教室・廊下																																																		
	7 「終わり」を書こう。	○たから物を見つけた後、どうなるのか考えよう。	教p.113-115	教室・廊下																																																		
	パワーアップ ミッション	○君の物語、今ここから ○自分の作品のあらすじを書こう。 ○自分の作品の表紙をつくろう。 ○自分の作品の挿絵をかこう。 ○自分の作品のポップを作ろう。		教室																																																		
4 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。																																																						
評 価 規 準 評 価 の 方 法	ア		・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で活用することができる。(学習シート、タブレットの記述)																																																			
	イ		・自分の想像した物語を表現することにおいて、相手や目的を意識して、様子が伝わるよう言葉を選んだり、書いた文章を読み返したりしながら、よりよい表現を検討して文章を整え、伝えたいことを明確にしている。(学習シート、タブレットの記述)																																																			
	ウ	・学習の見通しをもち、3枚の地図から1枚を選んだり、どのような物語にしようかを考えたりしながら、学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもてている。 (学習カード)	・進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 (観察、振り返りカード、学習シート、タブレットの記述) ・自分でテーマや題材を選択することにより、意欲を持続し、自分が想像した物語を書き上げようとしている。 (観察、振り返りカード、学習シート、タブレットの記述)																																																			



時		1	2 ～ 5	6 ～ 7																																																			
形態		一斉	個別	一斉 グループ																																																			
目標		・学習の進め方を捉え、見通しをもつ。 ・学習問題を知り、学習の見通しをもって計画を立てることができる。	・楽器の音色や音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	・楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。																																																			
学習の流れ		1 金管楽器や打楽器について、演奏の仕方と音色との関わりについて知る。	1 挨拶  2 自分の計画を確認する。  3 マイプラン・タイム	1 マイプラン・タイムで学んだことを発表し合い、感想を伝える。  2 グループになり、「パフ」を合奏する。  3 グループの演奏を発表し、気付いたことを発表し合う。  4 題材全体の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。																																																			
		2「パフ」の3つの旋律を知る。 学習問題 重なり合う響きを感じ取りながら合奏しよう。			2 <table><tr><td></td><td>ミッション名</td><td>学習内容</td><td>ヒント</td><td>場所</td></tr><tr><td>みんなで</td><td></td><td>いろいろな音のひびきについて知ろう</td><td>教科書</td><td>音楽室 A</td></tr><tr><td>ひとりで</td><td>トランペット</td><td>トランペットの音色に親しもう</td><td>教科書、学習シート、動画、 実物、体験</td><td>音楽室前廊下</td></tr><tr><td></td><td>パフ</td><td>「パフ」のリコーダーを久保先生といっしょにえんそうしよう</td><td>教科書、学習シート、動画、</td><td>音楽室 A</td></tr><tr><td></td><td>パフ</td><td>「パフ」のけんばんハーモニカを首藤先生といっしょにえんそうしよう</td><td>教科書、学習シート、動画、</td><td>音楽室 A</td></tr><tr><td></td><td>ジャッキー</td><td>「パフ」のてっきんを細田先生といっしょにえんそうしよう</td><td>教科書、学習シート、動画、</td><td>音楽室 B</td></tr><tr><td></td><td>かいぞく</td><td>「パフ」の電子オルガンを鮎川先生といっしょにえんそうしよう</td><td>教科書、学習シート、動画、</td><td>音楽準備室</td></tr><tr><td></td><td rowspan="3">パワーアップ</td><td>トランペットのいろいろな曲をきいて、音色に親しもう</td><td></td><td>音楽室前廊下</td></tr><tr><td></td><td>「パフ」のもっきんをえんそうしよう</td><td></td><td>音楽室 B</td></tr><tr><td></td><td>「パフ」を先生たちといっしょにえんそうしよう</td><td></td><td>それぞれの部屋</td></tr><tr><td></td><td>みんなで</td><td>重なり合うひびきをかんとりながら合奏しよう</td><td>教科書、学習シート、動画、</td><td>音楽室 A</td></tr></table>		ミッション名	学習内容	ヒント	場所	みんなで		いろいろな音のひびきについて知ろう	教科書	音楽室 A	ひとりで	トランペット	トランペットの音色に親しもう	教科書、学習シート、動画、 実物、体験	音楽室前廊下		パフ	「パフ」のリコーダーを久保先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 A		パフ	「パフ」のけんばんハーモニカを首藤先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 A		ジャッキー	「パフ」のてっきんを細田先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 B		かいぞく	「パフ」の電子オルガンを鮎川先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽準備室		パワーアップ	トランペットのいろいろな曲をきいて、音色に親しもう		音楽室前廊下		「パフ」のもっきんをえんそうしよう		音楽室 B		「パフ」を先生たちといっしょにえんそうしよう		それぞれの部屋		みんなで
	ミッション名	学習内容	ヒント	場所																																																			
みんなで		いろいろな音のひびきについて知ろう	教科書	音楽室 A																																																			
ひとりで	トランペット	トランペットの音色に親しもう	教科書、学習シート、動画、 実物、体験	音楽室前廊下																																																			
	パフ	「パフ」のリコーダーを久保先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 A																																																			
	パフ	「パフ」のけんばんハーモニカを首藤先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 A																																																			
	ジャッキー	「パフ」のてっきんを細田先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 B																																																			
	かいぞく	「パフ」の電子オルガンを鮎川先生といっしょにえんそうしよう	教科書、学習シート、動画、	音楽準備室																																																			
	パワーアップ	トランペットのいろいろな曲をきいて、音色に親しもう		音楽室前廊下																																																			
		「パフ」のもっきんをえんそうしよう		音楽室 B																																																			
		「パフ」を先生たちといっしょにえんそうしよう		それぞれの部屋																																																			
	みんなで	重なり合うひびきをかんとりながら合奏しよう	教科書、学習シート、動画、	音楽室 A																																																			
評価規準 評価の方法	ア	・曲想と音色などの音楽の構造と関わりについて気付いている。 (観察)	・思いや意図に合った表現をするために必要な、伴奏に合わせて演奏する技能を身に付けている。(学習シート、動画提出、観察)	・思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏に合わせて演奏する技能を身に付けている。 (動画提出、観察)																																																			
	イ		・音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたことを表現している。(学習シート、観察) ・音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、表現するとともに、曲の特徴を捉えて思いや意図をもって表現を工夫して、演奏している。(学習シート、動画提出、観察)	・音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関りについて考え、表現するとともに曲の特徴を捉えて思いや意図をもって表現を工夫して、演奏している。 (学習シート、動画提出、観察)																																																			
	ウ		・金管楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関りに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 (振り返りシート、学習シート、観察) ・楽器の音が重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 (振り返りシート、学習シート、観察)	・楽器の音が重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 (振り返りシート、観察)																																																			